

岡山県議会議員

まさたか

太田正孝

県政だより
VOL.11
平成23年
新年号



電気自動車「エリーカ」に期待!!

Creative Life

ひとりひとりの生きがいと
豊かな生活基盤を創るために。

編集責任者：太田正孝 岡山市北区延友455 TEL.(086)201-5523

本年を飛躍の年に

ご家族お揃いで輝かしき新年をお迎えることとお慶び申し上げます。旧年中は大変お世話になりました、厚く御礼申し上げます。

国政に希望を!

昨年は、安全保障、外交、経済を

はじめとする様々な分野で政治は迷走しました。国民の不安は増すばかりでした。この不安を解

消するには、もう一度政権交代をすすめるしかないことは自明です。そのためには、まず国民が期待できる政策を明確に打ち出すことが急務です。とりわけ、近年の新興国台頭で複雑になった国際関係のなかで、今までのような曖昧な外交は許されません。自由と民主主義を受け入れていない



佐藤ゆかり参議院議員（岡山市にて）

国には、断固たる態度をとることも必要です。日本のスタンスを明確に打ち出す時です。また、現在多くの国民からも、周辺からの脅威に対する抑止力をキチンと持ち、更なる有事を発生させない不断の努力が必要であるとの声があがっています。こうした国民の声にこたえるべく政治は動かなければなりません。昨年、私のために来岡してくださいました佐藤ゆかり参議院議員も日本の主権を守るために頑張っていると訴えられていましたが、国全体が安心でき希望を持てる体制というものを構築すべきであるということを私自

身も地方から訴えていきたいと考えています。

県政に輝きを!

また、県政においても県政でできることを確実に行い、県民の不安を取り除いていくことに汗をかいていかなければなりません。ついでには、前例踏襲にこだわらず、大胆に見直すべきところは見直し、「地域を守り、地域を伸ばす政治」にしなければなりません。その第一弾として、「県と市の二重行政の解消」、「三十五人学級の実現」、「どの地域でも医療が受けられる体制の整備」、「子育て環境の充実」等を訴えています。

四月は決戦の時です。岡山県を再び活力のある輝く県にしていこうではありませんか。

本年が皆様にとりまして飛躍の年になりますよう一生懸命政治に取り組んでまいります。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

岡山県議会議員

太田 正孝

九月 定例県議会の論戦

太田正孝は昨年九月十六日に登壇し、県議会一般質問を行いました。質問に取り上げた主な項目は、「おかやま発展戦略会議について」、「財政問題について」、「農業後継者問題について」でした。主なやり取りは左記の通りです。

知事への質問①

アジアの活力の呼び込みプロジェクト

本県の経済成長に向けてアジアの活力を呼び込むということについて、知事はどのような方向性を持って取り込もうとしているのかと質問したところ、アジア経済の専門家を含むおかやま戦略発展会議から有意義な提言を頂けるものと期待しているとの答弁がありました。

知事への質問②

臨時財政対策債に ついては

臨時財政対策債発行残高は平成三十一年度には今年度よりも

約四、九〇〇億増加するということだが、県としては財政運営についてどのように考えているのかと質問をしたところ、国が財政運営の健全化を図ることを期待するとともに、地方一般財源総額の強く主張していくとの答弁が知事からありました。

知事への質問③

農業後継者問題 プロジェクト

全農家のうち六八、三%もいる第二種兼業農家が多い本県の農業についてどのように認識をしているのかと質問をました。

知事は第二種兼業農家が地域経済等を支えていることを認めつつ、一昨年の農地法改正により、所有から利用への農地利用の方向性が見えてきたことから、農地集積により生産性の高い、競争力の強い本県農業の確立を目指したいと答弁しました。

農林水産部長への質問

ジャンボタニシプロジェクト

ジャンボタニシ対策として、緊

急雇用対策等のお金が使われているが、本年度の被害状況並びに今後の対策についてどうなっているのかを質問をしました。

農林水産部長から、県南を中心に二八〇haで発生し、一二ha程度で被害があり、今後については現地指導、地域ぐるみでの駆除、防除の取り組みを促進するなど、関係機関、団体とともに被害防止に努めたいとの答弁がありました。



ジャンボタニシの被害の多い県南の稲作地帯

十一月 定例県議会の論戦

太田正孝は昨年十二月十日に登壇し、県議会一般質問を行いました。質問に取り上げた主な項目は、「補正予算について」、「中山間地域の定住促進について」、「国民健康保険と介護保険について」、「教育行政について」でした。主なやり取りは左記の通りです。

十一月定例県議会提案の補正予算

経済波及効果二三九億円

補正予算の概要

公共工事は八七億円

十一月定例県議会での補正予算は一六二億円と大型補正予算となっている。しかし、その中身は、基金の積み増しが雇用関係で二八億円、林業関係で二億四千万円、介護関係で三億九千万円と基金に係るもののウエートが高く、また、子宮頸がんのワクチン接種三一億円、消費者行政・DV・障害者対策推進事業五、七八三万円、電気自動車急速充電器整備事

業七、六五二万円等、福祉の充実、環境面の改善という点に力が入っている点が特長的である。直ちに経済面の効果が出そうなものや経済効果が高いものは、補正予算の半分強にあたる県立学校の耐震化工事や土木工事など八七億円の部分ではないかと私はとらえています。



太田正孝の主張

経営支援を強力に！

エコカー購入減税・家電製品のエコポイント制度の打ち切りで、民間需要を喚起させる政策はほとんどなくなっている。また、派遣労働法改正の動きは企業の国内生産の意欲をそぐものである。こうしたやり方では市場は益々冷え込ませる。市場に刺激を与え、同時に、雇用面ばかりでなく企業の経営支援をもっと盛り込むべきです。



11月定例県議会で一般質問



知事への質問①

経済対策という面からの評価は？

政府の経済対策についてどのように評価をされているのかと質問したところ、知事から「地域経済対策として一定の評価をしている」との回答がありました。



知事への質問②

経済波及効果額は？

今回の補正予算で経済対策として実施する事業における経済波及効果はいくらと見ているのかと質問したところ、知事からの回答は「二三九億円の経済波及効果がある」というものでした。



知事への質問③

ひも付き補助金にシフト

今のような国が用途を限定してしまふ「ひも付き」のようなやり方よりも地方の自由度が高い交付金の増額等、要するに地方の裁量で自由に使えるお金を出す方が効果的ではないかと知事に質問したところ、「交付金相当額の税源移譲等により、地方一般財源を充実させることが望ましい」との答弁がありました。



知事への質問④

県庁のパフォーマンス



歯の健康づくり条例について調査

県庁が知恵をいっばい出して、その知恵から本県をあらためて裕福にして頂きたい。アイデアが出てこないのなら、県庁はいらないとの県民の感情には頷けるものがあり、アウトプットが出せる頭脳集団に甦らせていかなければならない。どうやって県庁の総合力を高めていこうとしているのかと知事に質問したところ、「今年度、総合政策局を設置するとともに、緊急課題ごとに専門プロジェクトチームを組織して、新しい提案が出てきていく」との答弁がありました。



知事への質問⑤

介護保険財政にシフト

厚労省の今の見通しでは、現行



知事への質問⑥

耕作放棄地解消

制度を維持しつつ、介護職員の処遇改善などにも対応した場合、二〇一二年には保険料の基準額が月額約五、二〇〇円となっている。この制度が始まった二〇〇二年度頃は約三、〇〇〇円であったことを思い出すと急激な保険料上昇である。県内の市町村の意見をまとめて国に公費負担の在り方について改善を求めるなどの働きかけを行うべきと考えるが、介護保険財政の現状と今後についてどのように考えているのかと質問しました。



知事への質問⑥

耕作放棄地解消

農業就業人口が△二五、一％の五九、五七一人になり、平均年齢も三、七歳アップし六九、九歳となるなか、どうやって農地面積を今後十年間で二、四％増加させるのかと質問をしました。

知事は、農地の農用地区域内への積極的な編入促進、耕作放棄地の発生抑制等に加え、再生利用マニユアルの活用等によって目標達成を目指していると答弁しました。

てくてくまさたか 文化振興・環境対策等特別委員会視察

太田正孝はこの委員会の委員長を務めています。

てくてくまさたか①

重森三玲記念館。
友琳の庭(吉備中央町)

国民文化祭が行われる前に会場を視察しました。吉備中央町の役場の方から丁寧な説明がありました。



会議室での委員会の様子

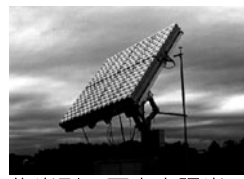


友琳の庭

てくてくまさたか③

太陽光発電研究センター
(茨城県つくば市
「独」産業技術総合研究所)

太陽光発電パネルのエネルギー変換効率について研究を進めていました。岡山市北区京山での実験についても説明を受けました。



集光型の巨大太陽光発電パネル

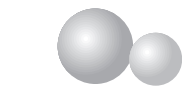


太陽光パネルの製造装置(試作品)

てくてくまさたか②

江戸下町伝統工芸館
(東京都台東区浅草)

鼈甲(べっこう)製品、仏壇など職人の手で作られている伝統工芸品が多く展示されていました。驚くことに、運営は地元の職人さんたちによって行われていました。



玄関ホール



地元職人の方が説明

てくてくまさたか④

さいたまスタジアム
(さいたま市緑区)

三菱自動車フットボールクラブ(浦和レッズ)の経営の説明をして頂きました。チーム成績が経営に大きく影響すること、また、観客動員にはスター選手も必要とのことでした。



さいたまスタジアムの会議室にて

てくてくまさたか⑤

エリーカに試乗
(川崎市幸区新川崎)

慶応大学の清水教授から電気自動車の現状と今後について説明をして頂いたのちに、8輪車の電気自動車「エリーカ」に試乗。最高速三七〇km/hの実力を感じさせて頂きました。ポルシェ以上のパワーを実現していました。課題は急速充電器などの社会インフラ整備です。

東京の産業廃棄物処理施設にて



編集後記



教育家参議院議員と教育再生を主張する

小惑星探査機「はやぶさ」の帰還は私たち日本人を感動させました。科学技術の素晴らしさをあらためて私たちに伝えてくれました。あの時、政府は科学予算を復活させましたが、今度は小学校の理科支の理科配置事業を「廃止」することとしました。小学生の「理科離れ」は大です。

を食い止めようしていたのですが、それができなくなりました。それよりか、理科への関心をもってもらおう好機であったにもかかわらず、その流れを止めることになりそうです。政治的判断は大事です。これ以上間違つた判断は、日本の国力を落とします。

現在、金星探査機「あかつき」が飛行中です。ミッションを是非とも成し遂げ、子どもたちに宇宙の神秘を伝えて欲しいと思います。そして、子どもたちが宇宙への科学への関心が、高まれば……。やはり政治の役割は大です。

(M・O)

●県政報告会は、二人でも三人でも、太田正孝の話が聞きたいという方がおられましたら、どこでも伺います。
●地域行事・慶事・訃報等がありましたら、是非ご連絡ください。

連絡先…太田正孝事務所 (TEL.086-201-5523) 月~金曜日 10:00~16:00